

2018年1月5日

報道関係各位

2018年 年頭社長挨拶(要約)

株式会社ツムラ

株式会社ツムラ

コーポレート・コミュニケーション室

広報グループ 担当：瀬戸 純

TEL 03-6361-7100

創業125周年「知恩報恩・感謝報恩」～恩を知り、感謝し、恩に報いる～

新年あけましておめでとうございます。

今年の干支の^{つちのえ}戊、^{いぬ}戌は、どちらも「^{しげる}茂」という字に通じ、これまでに蓄えてきたエネルギーや機運、あらゆるものが茂りを迎えていくことを示唆しています。2018年は、「やるべきこと、やらざるべきこと」を見極め実行する年、大いなる飛躍のチャンス、「勝負どころ」でもあります。物事の優先順位を明確にしながら仕事・働き方を抜本的に見直し、スピード感のある経営につなげていくという、まさに、当社の現況に当てはまる干支まわりではないでしょうか。

昨年は、「中国平安保険との資本業務提携」「漢方の将来ビジョン研究会による提言」「コーポレート・ガバナンス体制の強化」など、大きな変革の年でした。この変革に共通していること、それは私たちが「対話する相手」と、求められる「対話の質」が大きく変わってきているということです。中国事業は「巨大な海外企業との対話」、ビジョン研究会は「産官学そして国民との対話」、ガバナンス体制は「社外取締役との対話」が求められます。その対話を成立させるためには、「同じスピード感」と同時に「共通の言語」が求められます。ここでいう「共通言語」とは、社会や資本市場、医療といったそれぞれの専門分野において共有されている「原理原則」を理解し、それを前提に対話するということです。そして、もうひとつはスピードです。同じスピード感をもって変化に対応するためには、皆さん1人ひとりの「変革」が求められます。

当社は4月10日に創業125周年を迎えます。昨年6月に、この周年事業を進めていくために、「創業125周年プロジェクト」を設置しました。当社の歴史の重みや社会から期待されている役割を改めて認識し、「知恩報恩・感謝報恩」つまり頂戴した恩を知り、感謝し、ご恩に報いる、そして「品格」ある「いい会社」であり続けることを目指すために設置しました。職場だけでなくツムラグループに所属するさまざまな人々との対話を通して、創業者の信念や先人たちの想いを知るとともに、どのようなご恩を受けながら、ツムラが発展してきたのかを振り返り、そして、そのご恩に感謝し、どう応えていくかを考えてください。

伝統とは革新の連続です。革新のないところに伝統は生まれません。「伝統と革新」が意味するところを、今一度考えていただき、「明るく、正しく、逞しく」を合言葉に、ツムラグループの全役職員が、共に全力を尽くし頑張っていきましょう。

そして、皆さんとご家族の方々にとって希望に満ち、笑顔で健康に過ごせる年となりますことを心からお祈り申し上げます。

以上